

わたしたちの予算 平成21年度

【後期高齢者医療事業特別会計】
平成20年度からスタートし、2年目を迎えます。平成21年度は、

【老人保健特別会計】
後期高齢者医療が始まり、平成20年3月診療分までの老人保健特別会計の月遅れ・過誤清算分の医療費を見込みました。前年度対比94・3割の減額となりました。

【国民健康保険事業特別会計】
平成21年度は、前年度対比4・2割の減額となりました。

特別会計ごとの詳細

特定の事業を実施するために、一般会計とは別に経理する特別会計。本町には7つの特別会計があります。その詳細を見ていきます。

7つの特別会計について

対前年度比2・6割の増額となりました。運営主体は県後期高齢者医療広域連合。各市町は窓口業務のほか、被保険者の皆さんから保険料を徴収する業務を担います。被保険者の皆さんに適正な医療が提供できるよう努めます。

【介護保険事業特別会計】
過去のサービス量、給付実績、介護認定者の増加および平成21年度からの介護報酬改定に伴う給付の伸びにより、対前年度比10・1割の増額となりました。

【簡易水道事業特別会計】
平成20年度までは、旧両町での一國二制度で運営してきましたが、平成21年度からは料金体系を統一。川根本町簡易水道会計としてスタートします。引き続き、簡易水道を良好に管理運営し、安定給水に努めます。

【温泉事業特別会計】
町内温泉施設の維持管理経費を計上し、源泉を各温泉施設へ良好に供給するよう努めます。

【いやしりの里診療所事業特別会計】
開所3年目を迎える町営診療所「いやしりの里診療所」の運営予算です。

利用者求める充実した医療を提供できるよう努めます。

主 な 予 算 の 事 業 内 訳	
議会費	6,814万円
川根本町議会経費	6,814万円
総務費	8億9,982万円
北部地域振興センター周辺整備事業	3,970万円
行財政改革推進のため	66万円
財産の維持管理のため	1,026万円
庁舎（本庁と総合支所）の維持管理経費	2,518万円
交通安全対策事業に	744万円
自治会振興のため	2,406万円
山村開発センター管理経費	730万円
まちづくり条例制定のため	29万円
癒しの里づくり事業費補助金	640万円
まちづくりリーダー人材育成事業費補助金	100万円
コミュニティ施設管理整備事業	555万円
町営路線バスの運行経費（北部地域試行運転）	3,116万円
環境対策推進のため（クリーンエネルギー活用など）	897万円
衆議院議員・県知事・町長・町議会議員選挙費	3,610万円
2010年世界農林業センサス経費	177万円
民生費	10億2,091万円
地域福祉推進業務委託料	3,155万円
生きがい対応型デイサービスセンター運営委託経費	3,108万円
在宅高齢者配食サービス事業	1,140万円
外出支援サービス事業	1,578万円
重度障がい者（児）医療費扶助	1,778万円
在宅介護支援センター運営事業	853万円
介護員養成研修事業	294万円
町内保育園の運営などのため	1億8,919万円
子育て支援対策費（放課後児童クラブ・支援センター）	2,263万円
児童手当の支給	4,121万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	5,730万円
老人保健特別会計繰出金	60万円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	2,244万円
介護保険事業特別会計繰出金	1億4,984万円
衛生費	5億9,929万円
合併処理浄化槽設置費補助金	1,526万円
簡易水道事業特別会計繰出金	9,534万円
飲料水供給施設運営事業	7,339万円
がん検診事業のため	957万円
妊婦健康診査のため	304万円
乳幼児医療費助扶助ため（中学3年生まで拡大）	1,791万円
高齢者インフルエンザ予防接種助成	734万円
廃食油収集事業	226万円
し尿処理のため（川根広域施設組合負担金）	1億1,466万円
ごみ処理経費	1億4,155万円
いやしりの里診療所事業特別会計繰出金	817万円
労働費	195万円
予備費	1,500万円
予備費	1,500万円
農林水産業費	5億4,255万円
茶業振興対策事業	2,308万円
農林業センター運営事業費	3,432万円
農道整備などの農地費	1,586万円
農業農村整備事業（原野中山間地域総合整備事業（2地区）負担金ほか）	2,102万円
地籍調査事業	2,150万円
森林林業木材産業づくり事業（菌床しいたけ施設整備）	1億9,070万円
高機能林業機械購入補助事業（プロセッサ）	1,495万円
F S C森林認証普及啓発事業	180万円
森林エネルギー導入促進事業	50万円
景観林保全整備事業	100万円
林道整備事業費	7,996万円
商工費	2億1,465万円
小規模事業指導および商工会活動補助金	1,285万円
短期経営改善資金、商工業施設整備資金、小口資金の利子補給	197万円
観光振興のため	7,668万円
音戯の郷運営費	4,088万円
茶茗館管理運営費	1,846万円
ウッドハウスおろくぼ運営費（指定管理）	571万円
もりのくに運営費（指定管理）	713万円
温泉事業特別会計繰出金	1,882万円
地方の元気再生事業	900万円
土木費	1億6,969万円
町道維持修繕経費	2,741万円
町道新設改良事業費	3,922万円
急傾斜崩壊対策事業	2,683万円
町営住宅、若者定住住宅管理運営経費	655万円
若者定住促進住宅周辺整備	700万円
消防費	2億7,909万円
常備消防費として	1億9,241万円
非常備消防活動のために	5,460万円
消防施設整備（耐震性貯水槽、消防団詰所建設ほか）	1,070万円
災害対策費（家庭内家具固定委託金ほか）	2,139万円
教育費	5億2,127万円
外国語指導講師招へい事業	562万円
通学バス運営経費	2,714万円
小学校の管理・教育振興のため	1億1,940万円
中学校の管理・教育振興のため	4,800万円
社会教育事業のため	8,317万円
生涯学習推進のため	822万円
文化会館運営のため	4,246万円
資料館運営のため	793万円
B & G海洋センター運営のため	2,729万円
社会体育施設の維持管理経費	1,251万円
学校給食共同調理場の管理運営経費	8,434万円
災害復旧費	1,768万円
公債費	9億6,396万円
町債の元利償還金	9億6,396万円

行政改革大綱の「集中改革プラン」に基づき 住民の生活環境整備を重点的に整備 誰もが住みやすい町へ 川根本町長 杉山嘉英



6月には富士山静岡空港が開港します。本町を含む大井川流域への注目度が上がり、交流人口の増加も予想されます。本町が持つ地域資源への自覚、誇りを町民全員で共有し、住民との協働により、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。

ラン」を推進するため、子育て支援などの福祉サービスの充実や環境対策など、住民の生活環境整備に重点を置いて編成しました。

また、行政自らが担う役割を重点化し、自治会などの地域コミュニティや企業、団体などと協働する地域社会の確立を目指します。子どもから高齢者まで、安心して住み続けられる仕組みを創っていきます。そのために、「情報の公開」は元より、「情報の共有」が大切となります。

平成21年度の当初予算は、総合計画の基本方針を踏まえ、行政改革大綱の「集中改革プラン」に基づき、住民の生活環境整備を重点的に整備し、誰もが住みやすい町へ実現を目指します。

また、行政自らが担う役割を重点化し、自治会などの地域コミュニティや企業、団体などと協働する地域社会の確立を目指します。子どもから高齢者まで、安心して住み続けられる仕組みを創っていきます。そのために、「情報の公開」は元より、「情報の共有」が大切となります。

川根本町が元気で輝いた町であるために